

[氏名] 渡邊 将志 (わたなべ まさし)

千葉県出身、1971年生



[現職]

渡邊将志オフィス株式会社 代表取締役社長

株式会社エプロン 社外取締役

株式会社ニチリョク 社外取締役

法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 兼任講師

[学生へのメッセージ]

私は、前職は松井証券で取締役（事業開発担当）をしていましたが、2014年に独立して、現在は経営戦略・IR（投資家向け広報）専門の経営コンサルティング会社の代表を務めています。

収益と株価アップの同時支援ができるコンサルタントが世の中にほぼいないという独自のポジショニングにより、過去10年で上場企業40社超の支援をした実績があります。顧客は、時価総額50～2000億円の中堅中小クラスの上場企業が中心で、オーナー系企業が8割を占めています。

また、上場企業2社（株式会社エプロン、株式会社ニチリョク）の社外取締役も兼務し、上場企業にふさわしいガバナンス体制の構築や経営全般の助言をしています。

本校では、以下のような制約があり、渡邊ゼミを選択するのは、それなりのリスクがあります。

【渡邊ゼミのリスク】

- ・プロジェクト専任で、ゼミは原則オンラインのため対面で会う機会がほとんどない
- ・2年目の新米のため講師スキルは発展途上中、学術的な助言に関してはほぼできない
- ・中小企業の勤務やコンサル経験が全くないし、診断士の資格もない

ただ、以下のいずれかにご興味のある方は、渡邊ゼミを検討する価値はあります。

【渡邊ゼミにオススメの方】

- ・将来は独立/起業したい（キャリアアップ術も含め私自身の実体験/スキルを包み隠さず提供）
- ・上場企業等の大企業向けのコンサルもしたい（中小企業向けは授業や診断実習で補完へ）
- ・教科書的でなく実践的なアドバイスが欲しい（悪知恵が働くので、様々な角度から助言）
- ・フラットな関係でゼミに参加したい（上から目線の助言はせず、リラックスした雰囲気運営）
- ・卒業後も関係を継続したい（同窓会等を通して生涯、切磋琢磨できるゼミを志向）

ちなみに、初年度のゼミ生2名に選考理由等を聞いたところ、結果は以下の通りでした。

【選考理由】

- ・オープンドアで多くの先生と話したが、渡邊先生が一番明るい未来を語ってくださったから
- ・ビジネス化の豊富なアイデアを話していただき、とても希望が持てたから
- ・アカデミックより先生ご自身の経験を活かして実務的なアドバイスをいただけそうだったから
- ・明るく前向きでかつロジカルで雰囲気が良かったから

【ゼミで良かった点】

- ・ひとりひとり時間をとって丁寧にゼミをしてくださった
- ・先生がとにかく優しく力づけて励ましてくださった
- ・先生のお人柄でゼミの雰囲気が明るかった
- ・先生がバリバリ現役の方なのでお話や体験話がとても参考になった
- ・オンラインなのでゼミのためにわざわざ登校しなくても良かった
- ・テーマ選びで何度も悩んだ時に、時間をつくって何度も相談に乗ってくださった
- ・学生の意見を尊重しつつも、重要な点は指摘してくださった

【このような方にオススメ】

- ・独立してビジネスをしていこうという方
- ・自分の打ち出し方を考えていきたい方
- ・フレキシブルなゼミが良い方

ゼミは、上述のような特徴がありますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。ただ、ゼミ以外でも研究発表会後の飲み会等には学生以上に積極的に参加して様々な相談にのったりしていますので、オープンドアも含めてお気軽にお声がけください。

【専門分野】 経営戦略、事業開発、IR（投資家向け広報）

【主な経歴】

【学歴】

1994年3月 慶應義塾大学総合政策学部 卒業

2007年3月 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科（MBA） 修了

【職歴】（ ）は主な職務内容・実績

1994年4月 日興証券株式会社（現・SMBC日興証券）入社 浦和支店（個人営業）

1996年9月 同社 ニューヨーク現地法人（新事業開発）

1997年9月 同社 企業情報部（M&A アドバイザリー）

2001年2月 松井証券株式会社 経営企画課長（業界No.1シェア、利益7倍）

2004年3月 同社 社長室 広報IR担当部長（年500件の取材対応で株価3倍）

2007年4月 同社 事業開発部長（国内初の商品開発に成功し、ビジネスモデル特許取得）

2009年6月 同社 取締役（38歳の時に就任）

2014年10月 渡邊将志オフィス株式会社 代表取締役社長（現職）

2021年6月 株式会社ニチリョク 社外取締役（現職）

2022年3月 株式会社エプコ 社外取締役（現職）

2023年4月 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 兼任講師（現職）

[主な研究業績/社会的活動]

[著書]

1. 「論理力より創造力」(渡邊将志著) 2007年6月、講談社出版センター
2. 「修了生が本音で語る国内MBAスクール白書」(飯野一編著、分担執筆) 2010年10月、中央経済社
3. 「アイデアは才能では生まれない」(美崎栄一郎編著、分担執筆) 2012年7月、日本経済新聞出版社

[論文]

1. 「チームにおけるアイデア創出プロセスの探索的研究」(渡邊将志著) 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修士論文、2007年3月
2. 「早稲田ビジネススクールレビューvol.06」(寄稿) 2007年7月、日経BP企画

[社会的活動]

仙台市での復興支援を兼ねた経営戦略の研修の他、山口県の女性経営者・起業家向けに地方活性や女性活躍を推進するための各種研修(経営戦略、リーダーシップ、ロジカルシンキング)の講師を務めています。(山口県での活動は現在も継続中)

2018年8月 「実践型経営戦略セミナー」(仙台市主催)

2019年6月～ 「山口県女性創業サポート事業実践的創業セミナーPOWERS」(山口県主催)

2019年7月～ 「山口女性大学院」(山口県主催)

2019年7月～ 「mirai ビジネスアカデミー」(山口県主催)

[資格・表彰]

日本証券アナリスト協会検定会員(2003年6月取得)